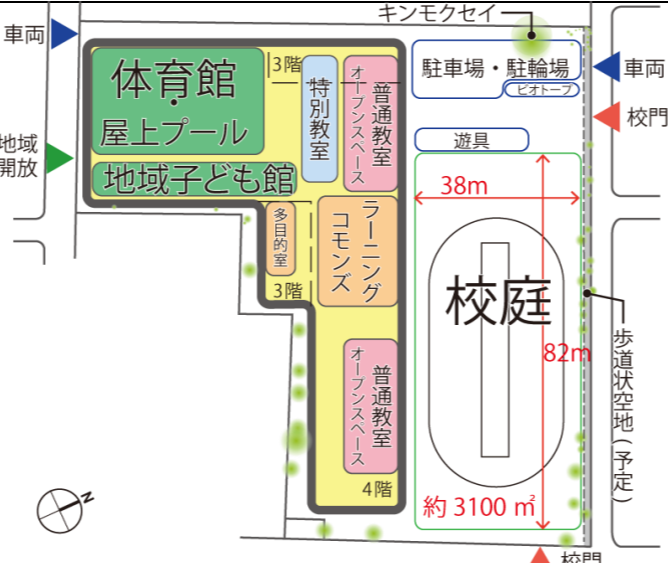
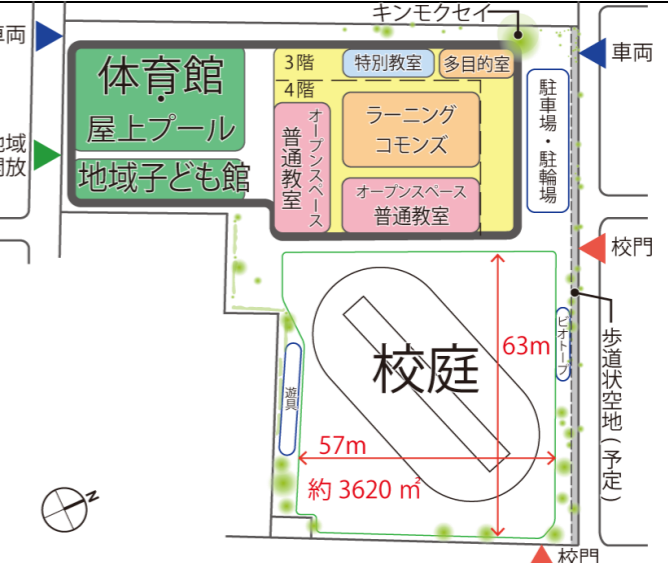
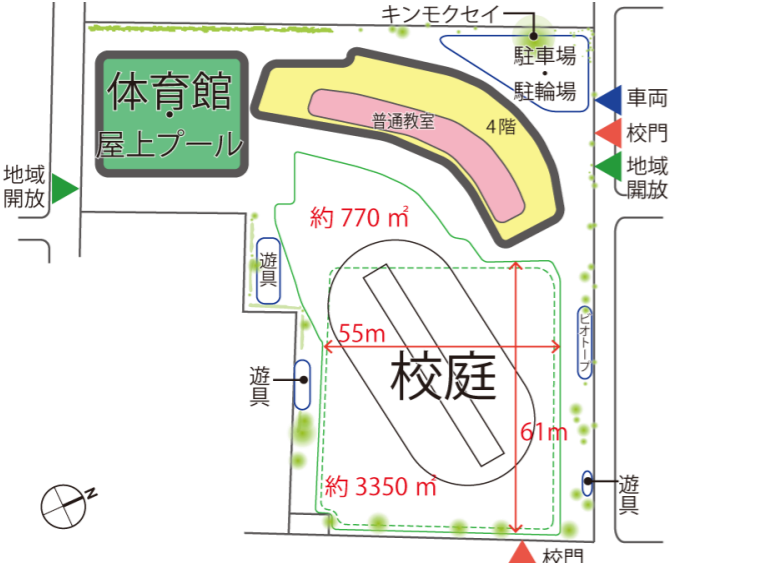
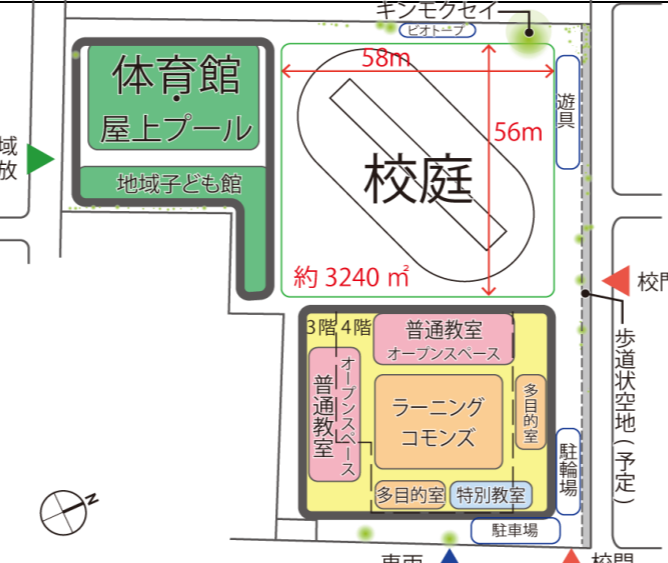


井之頭小学校 配置比較表

<p><b>配置計画案検討条件</b></p> <p>1: 法的な条件              日影規制や高さ制限等敷地にかかる法的条件により配置案を検討しています(既存校舎は既存不適格で現行の法令に適合していません)。どの配置案においても既存校舎と同様、4階建てになりますが、セットバック等で法的条件をクリアします。</p> <p>2: 仮設校舎の有無              敷地内に仮設校舎は建設せず、工事中は第一中学校の敷地内に建設した仮設校舎を利用します。</p> <p>3: 校庭の環境              配置案により、校庭の広さや校庭への日影の影響が変わります。</p> <p>4: 周辺環境への影響              周辺環境にはできる限り配慮するよう検討しておりますが、建物の配置が既存から変わることにより、周辺への影響(日影や砂埃、騒音、圧迫感など)が新たに発生する可能性があります。</p> <p>5: 教室配置              校舎の配置や採光条件等により教室の配置を決めています。教室の配置により、隣地側が窓になることがあります。</p> <p>※校舎内のプランは参考              今後変更する可能性あり</p>	<p><b>① 教室直線型 南側校舎配置案</b></p> <p>・校舎は体育館と一体化し南側にまとめる。              ・校庭は北側になり、東西方向に開かれた配置となる。ただし、校庭面積が小さく、短辺方向がやや狭く、また校舎の影が校庭に落ちる。              ・学びの環境はラーニングcommons(学校図書館)を校舎の中心に、左右に教室が並ぶ直線型で従来型の教室配置に近い。</p> 	<p><b>② 教室囲み型 西側校舎配置案</b></p> <p>・校舎は体育館と一体化し、西側にまとめて配置。既存校舎の配置に最も近い。              ・校庭は南向きになり日当たりも良く、整形部分は現況よりも広い。              ・学びの環境はラーニングcommons(学校図書館)を中心に教室が囲み、連続した空間が形成され、新しい学びの環境が実現出来る。</p> 
<p><b>既存校舎ブーメラン型 西側校舎配置</b></p> <p>整形部分: 55m × 61m = 約3350㎡              不整形部分: 約770㎡              合計: 約4120㎡</p> 	<p><b>③ 教室囲み型 東側校舎配置案(体育館別棟)</b></p> <p>・校舎は東側に配置し、南側の体育館等とは屋根付の屋外廊下で接続。西方向に開かれた配置となる。              ・校庭が北西向きで、整形だが、既存の校庭整形部分より小さくなる。また校舎と体育館に囲まれ校庭に影を落とす。              ・学びの環境はラーニングcommons(学校図書館)を中心に教室が囲み、連続した空間が形成され、新しい学びの環境が実現出来る。ただし、校舎から体育館・屋上プールへの移動が遠い。</p> 	<p><b>④ 教室囲み型 東側校舎配置案</b></p> <p>・校舎は体育館と一体化し、東側にまとめて配置する。              ・校庭は、南北につながる長方形の形状で、校庭面積は大きいですが、短辺方向はやや狭い。              ・学びの環境はラーニングcommons(学校図書館)を中心に教室が囲み、連続した空間が形成され、新しい学びの環境が実現出来る。</p> 